



川崎・多摩丘陵の里山を守る会

2006年2号

熊野森トラスト

事務局代表 伊中

tel&fax044-866-7005

川崎・多摩丘陵の里山を守る会

第7回総会報告(5月13日開催)

「川崎・多摩丘陵の里山を守る会」は、も趣旨採択となり、「久本薬医門公園」2000年8月に結成され、今回の総会として保全されることが決定されました。7年目の活動に入ります。昨年の活動を市民による公園構想検討委員会「アをご報告し、残された貴重な緑を大切に、一トパーク会議」のワークショップにより充実した里山ボランティアの活動を継続していききたいと思います。

2004年3月に提出した「ターザンの木」の保全を求める請願は、同年7月に開かれた川崎市議会環境委員会によって趣旨採択されました。これによって「ターザンの木」の伐採はまぬがれ、マウシ植物観察会」を、高橋英先生を講師として開催しました。昨年引き続き、緑地保全を目指した運動の大きな成果を残しました。しかし2005年から現在まで、宅地造成工事が中断したまま、毎月第3日曜日に末長久保台公園、ターザンの木周辺、末長熊野森緑地の定期区役所建築課を訪ねて問い合わせ、末長組にも問い合わせたところ、施工主の都合によるということでした。

2006年度活動方針
・多摩丘陵の緑地保全のための活動をしていきます。
・花と緑のまちづくりのために緑を育て、木や花を植えられるところには、植樹の可能性を探ります。
・「自然観察会」「よその公園・緑地見学」などを企画し、参加者と里山保全の意義を共有します。
・里山活動を具体化するための勉強を続けます。

2006年5月には「春の里山を歩こう」植物観察会」を、高橋英先生を講師として開催しました。昨年引き続き、緑地保全を目指した運動の大きな成果を残しました。しかし2005年から現在まで、宅地造成工事が中断したまま、毎月第3日曜日に末長久保台公園、ターザンの木周辺、末長熊野森緑地の定期区役所建築課を訪ねて問い合わせ、末長組にも問い合わせたところ、施工主の都合によるということでした。

公園愛護会としての活動を、公園管理運営協議会を発足させ発展的に継続できるようにしました。2006年3月に末長久保台公園、末長熊野森緑地ともに、公園管理運営協議会を結成しました。

・毎月第3日曜日の定期的な草刈、清掃作業などの活動を続けます。
・熊野森緑地、久保台公園とも公園管理運営協議会の活動を支えます。
・ターザンの木、岡家の庭園など、地域の文化遺産を守る活動を続けます。
・行政との協働、他の団体との交流をはかります。

また、久本にある岡家跡地の門と庭の保全を願い「まちの庭」として位置づけられるよう署名活動をし、2005年2月川崎市環境委員会審議によって、これ

また、久本にある岡家跡地の門と庭の保全を願い「まちの庭」として位置づけられるよう署名活動をし、2005年2月川崎市環境委員会審議によって、これ

・ターザンの木などへの散策路がわかるように案内掲示看板を設置します。
・久保台公園にて秋のバザー(10月にフリーマーケット)を開催し、近隣との交流を図ります。
・樹木の名称板を増やします。
・熊野森緑地に散策路を設置し、畑作りなどの活動を行います。
・ホームページへの参加を募ります。

熊野森自然観察会

五月二一日(日) 恒例の熊野森自然観察会を自然観察指導員 高橋英さんのアドバイスを受けながら楽しく行いました。

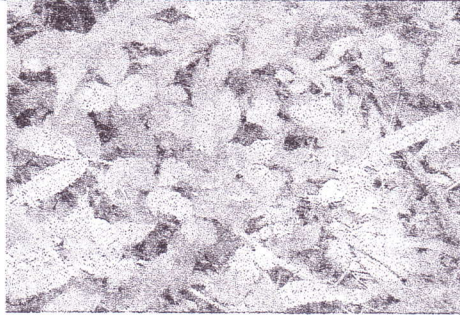
なんども参加しているのに草花をなかなか覚えられない。言われると名前は聞いたことがあるのだが。小さな花のルーペを見ないと分からない。微細な話から、料理をしたら美味しい話まで「なんでこんなにかわいいのだろう」と関心しながらついていくのである。

私は、仲間頼みで、密かにみんなが覚えてくれるのを待っている。

観察会も終わりに近づきみんなで休んでいると、春の風が通り過ぎ、とても気持ちの良い時を過ごせた。近くの木には、なかなか姿を見せない鳴き声でホーホケキョーとさえずっている。想わず一句！ こうゆう感じを「至福のとき」と言うのでしようか。

つるつる

熊野森で育つ明日葉の報告



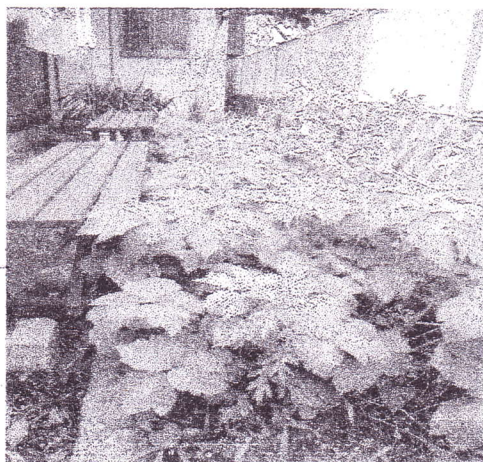
小さな明日葉の苗

末長熊野森緑地公園の、観察会で名前のわかった木や草については、なかなか覚えられない木や草花の名前ですが、一度その由来などを知ると、親しみも深まり、いっそう愛着を持ってこの緑地を散策できるようになると思います。ぜひ、探してみてください。 (ケヤキ)

江戸見桜から、ターザンの樹までの竹垣の道路沿いにみんなまで明日葉の苗を植えてからもう4年もたつてしまいました。残念なことにはこの道路沿いの明日葉の苗は竹林から伸びている竹の根との戦いに敗れ全滅してしまいました。自然との闘い、きびしさを感じられました。

熊野森緑地での里山活動が平成15年頃からはじめられましたが、さつそく明日葉の苗を20株ほど緑地内の西向きの斜面に植えました。肥料分として腐葉土を与えたこともあつてか、なんとか育ち一昨年には花が咲き種が落ちるといふ生物の循環がはじまっています。特に昨年秋季には沢山の種が落ちて今年の5月頃には、周辺一面に芽を吹き出しています。

ただ、やっぱり自然との闘いの厳しさが、肥料分の不足や他の草木との生存競争に打ち勝たなければなりません。家庭の庭ですくすく育っている同じ1年もの比べれば歴然としています。心配で熊野森に入るたびに様子を見に行き、がんばれ明日葉と二ころの中で応援しています。



庭の明日葉

明日葉は天ぷらやおしたしなどでよく食べられますが、油で炒め醤油とマヨネーズでからむとちよつとびつくりの美味しさです。最後に明日葉の採り方ですが、若い柔らかい柔らかなものを採りますが、それぞれの三つの枝のうちひとつを残すようにすると後の新芽の育ちが良いようです。

持田

さて 今年もあんずの季節、約束もしてないのに、ちゃんと花を咲かせ、実をつけてくれました。

収穫時がよくわからない私たちは、去年は遅すぎ、今年はずっと早すぎたようです。

氷砂糖とリカーでただいま熟成中。
あんず3・5kg 氷砂糖350g
リカー1・8ℓ



薪も炭も使わない生活の中で、熊野森の植物の名前や種類を知り、花実のつき具合、虫のこと、鳥のこと、などをほんの少しだけ、ずうっとわすれずに、気にしていたいのです。グローパーリゼーションより、ローカリゼーションこそ大切と思います。

(くすかおる)

空と川と温暖化

緑のコラム

空を見上げるように、枝を広げる樺の木が好きです。ケヤキの街路樹が駅前には広がっている武蔵小杉のロタリーは、それだけで涼しげです。みんなで草刈をした8月の日曜日、熊野森緑地の高いところに一本の大きなシラカシの落とす木陰が快適でした。たった一本の木でも、それがあるとないのでは、温度が相当違いますよね。

環境への関心は多くの人が持つていて、ますます、地球が熱くなっていくなかで、何とかしなくてはという思いも強くなっています。でも、どうどん環境は悪くなる一方で、人間が生息している限り、解決などということはないんだなと思います。空気も水も、温度も、人間にとってなくてはならないものだから、大切にしないはずなのです。

呼吸困難になるほどの排気ガスを出しても、自動車の中はエアコンで快適。空気は何とでもなるのでしょ

うか。

下水道設備と莫大な税金をかけた汚水処理システムの完備によって、川の水はきれいになり、それでも、水道水を直接飲む人は少なくなり、ミネラルウォーターの購入に走る。

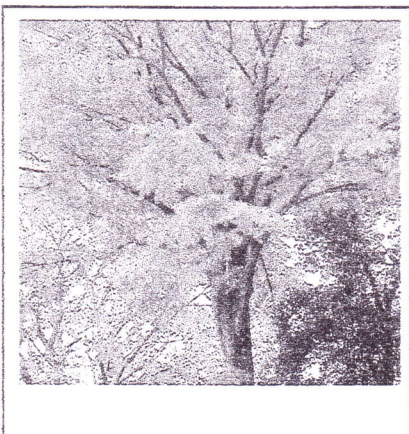
川の水は、上流から海に流れ出るまでに、人間の体を8回ほど通過するということを聞いて、驚きました。下水処理の中で課題は、人間の排泄物の処理だということです。以前、川面が合成洗剤の泡だらけになったことがありましたが、家庭排水は直接に川に流れ出すことはなくなりました。多摩川は川遊びができるほどになったと聞いています。等々力の下水処理施設では、水質検査を一日に何度も行ないながら、リンなどの処理に注意していると知りました。さて、地球温暖化については、どうでしょうか。

氷河の融け出す映像をテレビで何度も見ました。この10年間で氷河だったところが草地になっているというような、また、北極熊が危機にあっていくというような。また、身近なところで、東京の海浜部に高層マンションが林立していることで、温度が高くなって下がない現象と

か。スコールのような雨が降って、視界が利かないほどになるときがあるとか・・・こまったなあ。

脅かされるように毎日、温暖化の衝撃的映像を見て、この夏は本当に暑い思いをしました。すぐにその気になってしまいう性格なので、たいへんです。

木を植える男の話を、思い出します。いまのためにはならないけれど、きつと、何十年か後に、植えた木は育っていくはず。砂漠地方で、木を植えているニュースもありました。川崎市にも、木を植えようという活動はあります。伐ってしまうのは簡単だけれど、ちよつと、踏みとどまって、何とか残せないものか、考えて見たい木も、あちこちにあります。その気がなかったら、樹も残らない・・・なんてね。(ケヤキ)





フリーマーケットのお知らせ

日時 平成18年10月29日(日曜日) 午前11時から3時まで

場所 末長久保台公園(高津区末長338番地)

焼きそば、ヨーヨーつり、子ども服のリサイクル、ビーズなどのアクセサリ販売など
楽しい企画がいっぱいです。

また、フリーマーケット出店者を応募します。日頃製作している手作り作品、衣料品
などを販売するお店を出したい方は、是非ご応募ください。(出店費用300円)

第3日曜日(9月17日、10月15日)定例里山活動日の午前10時から10時20分
まで末長久保台公園で受け付けます。

末長久保台公園は子どもから大人まで、多くの人が利用している親しみやすい公園です。
みんなが利用している公園で、秋のひと時を過ごし、ご近所同士の交流をしましょう。

詳しくは、“末長久保台公園協議会”を運営する「川崎・多摩丘陵の里山を守る会」
にお問い合わせください。

主催 多摩丘陵の里山を守る会 フリーマーケット実行委員会

受付・連絡先:久保田044-877-4480

川崎・多摩丘陵の里山を守る会 会員募集について

この会は、緑地保全のための里山ボランティア活動の会です。

毎月第3日曜日に活動しています。

ご関心のある方は、末長久保台公園に、活動日日程にそって
お集まりください。

草刈、剪定、どんぐりの苗を育てる、緑の小道づくりなど
ぜひご参加ください。 連絡先 草井 TEL044-855-1646

10月15日 草刈・剪定・清掃
10月29日 フリーマーケット
11月19日 草刈・清掃
12月17日 草刈・清掃

毎月第3日曜日10時から
集合場所:末長久保台公園

里山活動をしよう 活動日